

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 26 年 11 月 21 日
主管学校名	宮城教育大学附属幼稚園
P T A 会長名	塩谷 昭子

実施概要	主管校	宮城教育大学附属幼稚園
	交流校	宮城教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	宮城教育大学附属特別支援学校訪問
	実施日時	平成 26 年 9 月 12 日 (金)
	実施場所	宮城教育大学附属特別支援学校
	実施目的	幼稚園保護者の特別支援学校に対する正しい理解と知識、教養を深める。
	実施内容	特別支援学校を訪問し、副校長先生より発達障害についての講話を受け、その後、生徒の授業風景や制作活動を見学する。
	実施方法	貸し切りバスにて特別支援学校に到着後、会議室に移動し講話を受け、その後、校内で授業を見学する。
	参加人数	宮城教育大学附属幼稚園保護者 42 名

報告事項	内容	平成 26 年 9 月 12 日 (金) 附属幼稚園から特別支援学校まで保護者 42 名で貸切バスにて訪問した。到着後、副校長先生より「特別支援教育の理解」というテーマの講話を聴講する。そして、講話終了後 2 グループに分かれて卒園記念品依頼、木工、陶芸施設を含む特別支援学校内の施設の見学や、生徒たちの授業風景や制作活動などの見学を行った。 講話や制作活動についての質疑応答を行い、両校の父母教師の交流、親睦も深める。 バスにて幼稚園に戻り、保護者にアンケートを実施した。
	結果	特別支援教育の講話を聞き、特別支援学校の環境を知り、お互いを正しく理解し、共に助け合い支え合って生きていくことの大切さを学んだ。また、障がいの有る無しに関わらず、子育てに不安や悩みはつきものなので、子育てに共通する内容が入っていたことも非常に参考になった。生徒たちの活動する姿を見学することで良い理解につながった。 生徒たちは 2 週間後に控えた「ふようまつり」の PR をしてくれた。緊張しながらも沢山の人の前で表現する喜びを感じ、仲間たちと協力することの大切さや、堂々と自分自身を発表できる場となった。
	所感	自然な形で無理なく関わることで、障がいのある人を暖かく見守ることにつながるのではないかと思います。頑張って制作した作品を自らアピールすることで、生徒たちも達成感を味わい、勤労に対する意欲を高めた貴重な機会にもなったのではないかと思います。すべての子どもには障がいの有る無しに関わらず同じように社会の一員としてたくましく幸せに生きてほしいという思いは、子を持つ親としての共通の願いだと思います。本年度も、カンガルーシップ活動助成金事業という良い機会をいただきお互いに理解を深め有意義な交流が出来たことを感謝いたします。今後も両校の活動の前進を目標とし、共に楽しめる企画、実施をしていき、より多くの人たちに発信していきたいと考えております。

添付書類

実施報告書掲載可

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 26 年 11 月 21 日	
学校名	宮城教育大学附属特別支援学校 宮城教育大学附属幼稚園	
学年		氏名



副校長先生の講話を聴講中



作品の説明（「とても緊張した」とのこと）



陶芸班の作品



総合サービス業班の作品



制作中



木工班の作品

活動に参加しての感想

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成26年11月21日
学校名	宮城教育大学附属幼稚園
氏名	

### 保護者の声

- 分かりやすく興味深い内容でした。障がいと言うと、特別な事として構えてしまいますが、お話を伺っているうちに、特別な事は何も必要ないんだなあと思いました。子育てと一緒に、子どもひとりひとりに丁寧に向き合うことが大切で、その「丁寧に」というのがなかなか難しいことだと感じました。
- 特別支援学校の訪問は初めてでした。校内の雰囲気や教育環境をじかに感じる事が出来て良かったです。充実した環境で、専門の先生方や仲間励まされながら成長していけるし、親の方もお互いに支え合う友人に出会えると思うし、とても素晴らしい学校だと思います。
- なかなか実現するのは難しいとは思いますが、せっくなので特別支援学校のふようまつりに参加するとか、時々喫茶もやりますというお話があったと思うので、そういう企画に参加させていただくのも交流の幅が広がって良いのではないかと思います。それから、今回の訪問時期は非常に良かったと思います。卒園記念品のプランも知ることができたし、近々ふようまつりがあってそのための作品を作っている様子も見ることができました。おまつりに行ってみようと思っています。
- 短時間の中でスライドを使い、噛み砕いてご説明いただき、特別支援教育への理解を深める事が出来ました。「ひらがな絵カード」を使い男の子にひらがなを教える事例など今後の我が子の家庭学習において応用できる内容もたくさんお聞かせいただきました。
- 色々なデータを元に分かりやすく説明して下さい障がいとは支援を必要としている個性であるという事が分かりました。自分の子育てにも非常に参考になるお話でした。
- 特別支援学校の先生方や生徒さん達が訪問を楽しみに色々準備して下さい感謝しています。
- 共同で制作できるものなどがあるといいと思います。今後もお互いが温かい気持ちになれる活動が出来ればと思います。
- 健常児でも障害児でもやる気を起こさせる（嬉しくなる）褒め方は同じだと感じました。また一人一人に合わせた先生方の取り組みはこれからの子育ての参考にもなりました。育児書通りに育たないと心配にもなりますが、個性を大切に我が子を育てたいと思います。
- 特別支援学校への訪問は今回が初めてでしたが、説明して下さった生徒さんたち皆さんがとても素直で一生懸命なのが伝わってきました。
- 支援が必要な子どもたちのクラスの話、かわり方を聞くことができて良かった。どんな子どもにも、親の話しかけ方がとても重要なことを教えていただきありがたかった。
- 講話+見学+学食で昼食と、普段体験できないことができ良かったと思う。
- とてもわかりやすく興味深い話でした。例題があることでさらに自分の子育ての役に立てる参考になりました。
- 生徒達の取り組みを拝見することが出来、卒業記念の作品がとても大切に作られていた事に感動しました。
- 将来生徒たちがどのような職につくのか、お母様方の家庭での取り組みにも興味があります。
- 一人一人に合う対応を考えており、障がいがある無し関係なく一人一人子どもたちは違うので、私自身とても勉強になりました。
- 何度か参加させていただいておりますが、毎回とても参考になります。
- やる気を起こさせる褒め方は、我が子にもぜひ実践してみたいと思いました。一人一人に寄り添った支援がとても大切であるということが分かりました。
- 見学したくても普段は見学できないところを見ることができとても充実した訪問であったと思います。もう少し時間に余裕があれば良かったです。
- お話の中で子どもたちを暖かく肯定的な気持ちで見守ってあげるといってお言葉が、特別支援のお子様だけではなく全ての子育て中の親に当てはまるなど改めて感じました。
- 副校長先生からのお話とても良かったです。実際に中に入って学校見学することで理解が深まりました。
- 小学校でも特別支援さんのお子様たちと触れ合う機会があっても良いと思います。
- 「教員も保護者も楽しんで活動している」という言葉が印象的でした。支援を必要としない子どもたち、保護者も何も変わりはないのだと感じました。
- 通常我々の子育てにおいても非常に有益かつ貴重な内容だった。
- 事例を出してお話して下さい、より深く支援教育について知ることができました。
- 小学部～高等部まで、見学させていただくことができ、とても勉強になりました。生徒さん一人一人が、一生懸命に、活動に取り組むひたむきな姿にとっても感動しました。そして、生徒さんたちを温かく見守り、寄り添っておられた先生方の姿勢にもとても感心させられました。
- 学校内を見学できたことが大変良かった。実体験や作業を通じて机上ではなく、いろんな学習ができること、そして、それが将来の職業訓練に役立つのだと感じた。